

第7回 防災情報セミナー 【建コン CPD 登録講習】

～南海トラフ・根室沖巨大地震への備えと広域複合対策～

【開催趣旨】

政府の調査委員会は、2019年1月に南海トラフの巨大地震と根室沖（千島海溝）の巨大地震の今後30年以内の発生確率を新たに70%から80%に見直すと公表しました。マグニチュード8以上の巨大地震の確率が80%というのは非常に高い確率で地震の発生が迫っていることを示しています。当フォーラムではこの度、名古屋大学の中野正樹教授をメインスピーカーに迎えて、南海トラフへの備えについて伺うと共に、根室沖巨大地震への備えについても広域複合災害の視点から考えます。

【開催日時】:

2019年11月6日(水) 13:30～17:00 (受付13:05～)

【会場】:

札幌駅前ビジネススペース カンファレンスルーム 2A
札幌市中央区北5条西6 第二北海道通信ビル2階 (1階に郵便局のあるビル)

【プログラム】

13:30-13:35 開会の挨拶

13:35-14:30 基調講演「大規模災害で大量に発生する廃棄物の効率的な処理・利用に向けて」
名古屋大学大学院工学研究科土木工学専攻教授 中野正樹氏

プロフィール：1988年名古屋大学工学部土木工学科卒業、1993年名古屋大学大学院工学研究科地圏環境工学博士課程修了。1996年より名古屋大学助教授、2006年より現職。専門は地盤工学。



14:30-15:00 講演2「南海トラフ地震などの大規模災害への実務対応」
奥村組土木本部土木部環境技術室長 大塚義一氏
(京都大学大学院地球環境学舎 特任講師)

15:00-15:10 休憩

15:10-15:50 講演3「北海道が備えるべき広域複合災害対策」
北海道大学広域複合災害研究センター特任教授 岡田成幸氏

15:50-16:20 講演4「北海道胆振東部地震への災害対応と根室沖地震への備え」
北海道総務部危機対策局危機対策課長 所秀和氏

16:20-17:00 質疑応答

【参加費】: 一般 3,000円 主催・共催団体会員・官公庁・自治体 2,000円

【主催】: 一般社団法人北海道産学官研究フォーラム

【共催】: 産学官 CIM・GIS 研究会、特定非営利活動法人 Digital 北海道研究会

【後援】: 北海道大学広域複合災害研究センター、北海道立総合研究機構、建設コンサルタンツ協会北海道支部、

(依頼先) 北海道建設業協会、写真測量学会北海道支部、公益社団法人土木学会北海道支部、

公益社団法人日本技術士会北海道本部

【連絡先】: 一般社団法人北海道産学官研究フォーラム 担当 藤原

TEL 011-374-6836 FAX 011-299-5070 E-mail: cimgis@sangaku.tank.jp

【お申込み】: お申込み・詳細は下記アドレスをご参照ください。

<https://h-sangakukan.jp/events/2587>



